



2026年3月18日

各位

会社名 株式会社 ソケッツ
代表者名 代表取締役社長 浦部 浩司
(コード番号:3634 東証スタンダード市場)
問合せ先 コーポレートプランニング室 室長 川瀬 尚子
(TEL. 03-5785-5518)

上場維持基準の適合に向けた計画の進捗状況について
KDDI株式会社による株式売却の実施など

当社は、東証スタンダード市場上場維持基準の4項目のうち1項目「流通株式時価総額」において抵触しており、その適合に向け流通株式数に関して進捗がございましたので、お知らせいたします。

記

1. 東証スタンダード上場維持基準における適合状況

2026年3月17日時点のスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、当社は流通株式時価総額基準に対して不足がございます。

適合項目	東証スタンダード市場 上場維持基準	判定
流通株式時価総額	1,000 百万円	×
株主数	400 人	○
流通株式数	2,000 単位	○
流通株式比率	25%	○

上記の通り、当社は流通株式時価総額基準に対して不足がございます。

流通株式時価総額は「株価×流通株数」にて算出されるため、基準の達成においては、株価向上はもちろんのこと、流通株数の増加が有用な対策となります。

それらの具体的な対策として2025年6月30日発表の通り下記を進めてまいりました。

- ① 業績改善、黒字化
- ② 企業価値の向上
- ③ 流通株式数の増加

① 業績改善、黒字化につきましては、前期投資先行であった8,000万円の経常赤字から当期において、感性AIを活用した音楽・映像コンテンツデータサービスの収益向上が進み、通期業績予想の上方修正を経て、現在今期は増収のうえ、経常利益5,200万円の利益計上の予想となり、黒字転換の上、着実な改善実行となっております。

② 企業価値の向上につきましては、2025年4月7日の株価462円から2026年3月17日において株価773円

と企業価値として株価の向上が見られます。

- ③ 流通株式数の増加につきましては、具体的には、大株主様との間で保有株式数の売却を始めとした各種流動性の向上に向けた協議を進めてまいりました。

当社の大株主上位 5 名は下記となります(2025 年9月 30 日時点)。

株主名	持株数	持株シェア
浦部 浩司(当社代表取締役)	661,600	26.7%
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	240,000	9.6%
KDDI 株式会社	240,000	9.6%
株式会社フェイス	145,000	5.8%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	92,300	3.7%

2. KDDI 株式会社による売却予定

このうち、KDDI 株式会社にて当社の売却要請に応じる意向を示していただき、同社からは、本日付けで、本日以降 2026 年3月 31 日までに、証券会社を通じた ToSTNeT-1 を利用した立会外取引・市場内取引によって、株式売却を目指す予定であると説明を受けております。2026 年3月 31 日までに全量が売却できるかどうかは現時点では不明ですが、仮にかかるといわれる売却が実際に実行された場合には、実際の売却株数において当社の流通株式数が増加することが見込まれます。なお現在当社と KDDI 株式会社との間では業務上の関係が存在しますが、前記の株式売却自体が、当該関係に特段の影響を与えるものではないことを KDDI 株式会社とは確認しております。

なお、流通株式数が相応に増加する見込みとなりましたが、上場維持基準のうち流通株式時価総額の適合状況につきましては、実際に 2026 年 3 月 31 日までにどこまで流通株式が増加するかまたは株価含めた市場の状況によりま

す。
<ご参考> 大株主様保有分が流通株式化した場合のクリアとなる基準株価※2 (2月6日発表:2026年3月期第3四半期決算説明資料にて公表)

24 万株流通株式化の場合 (基準株価 743円)

35 万株流通株式化の場合 (基準株価 687 円)

45 万株流通株式化の場合 (基準株価 643 円)

※1 一部役員持株の流通株式化(2万3,000株)を想定し算定

※2 基準株価とは 2026 年 1 月～3月までの終値平均となります。1月から 3月 17日現在の終値平均は 764 円となります。

3. その他の状況について

KDDI 株式会社以外の大株主との協議につきましても、引き続き、流動性の向上に向けた様々な取り組みについて具体的な検討を継続して頂いております。なお 3月 17日に当社株主である株式会社フェイスより当社株式の保有目的を純投資とする変更報告書が財務局に提出されております。ただし現時点で本件が流通株式への算入として確定しているわけではありません。一方で算入された場合におきましては株式会社フェイス保有全株式が流通株式となります。

また、主要顧客他、外部企業との資本及び業務を含めた提携を今後より積極的に推進してまいります。

以上